

回覧用									

発行日	令和6年2月1日
発行元	災害対策課
所属長	森本 仁信
電話	06-6489-6165

防災



防災対策情報便

令和6年1月号

1 令和6年能登半島地震について

▼尼崎市の支援について

尼崎市を含む兵庫県は石川県珠洲市をカウンターパートとして支援を行っており、1月23日現在で延べ33名の職員を派遣し、1月28日からは更に2名を被災地に派遣する予定となっています。(派遣先の内訳は、珠洲市2名、穴水町10名、輪島市21名となっています。)

支援内容は、応急危険度判定をはじめ、避難所運営、人命救助活動、水道の復旧応援、家屋被害認定調査に係る業務を行っています。



物資集積所の様子



ミーティングの様子



津波で流された車

▼義援金の募集について

阪神・淡路大震災で、私たちは多くの方々からご支援をいただき、その善意に励まされ、互いに助け合うことの大切さを学びました。この教訓を生かし、この災害の被災者に、私たちの善意を届けたいと考えています。

(口座振込による方法)

(募金箱の設置)

金融機関	口座番号	設置場所
三井住友銀行兵庫県庁出張所	(普通)3294602	(北館1階)会計管理室
みなと銀行本店営業部	(普通)2019118	(中館8階)危機管理安全局企画管理課
但馬銀行神戸支店	(普通)9885280	

※所定の手数料がかかる場合があります。

避難所運営の支援を目的として、危機管理安全局から佐々木部長と鹿島係長が珠洲市に派遣されました。その時に感じたことや今後の尼崎市にどのように生かせるかを伺いました。

Q1 被災地で避難所運営関係の業務を行う上で、何が一番心に残りましたか。

【佐々木部長】

まず、真っ先に感じたことは被災地に近づくと道路事情などライフラインが非常に酷い状況であったことです。これにより、避難者全員が満足するだけの物資は行政の努力とは裏腹に届いていないということが現実でした。南海トラフ地震などの広域の災害が起こった時には、まさにこのような状況になることを肌で感じました。

そして、市民と同じように市町の職員もまた、被災している状況で半数程度の職員での災害対応になっており行政機能の維持が非常に難しい状況でした。

このような状況下でも、避難所での運営は地域住民主体で行われており、自立している避難所が大半であったことは心に残っています。

【鹿島係長】

“生活用水”の不足です。避難者のためのペットボトルに入った飲料水は充実していましたが、日常生活であって当たり前の生活用水が被災地では不足している現状が心に残りました。

断水等に備えて、飲料水だけでなくお風呂の水をためておくなど生活用水の確保の重要性を改めて認識できました。

また、珠洲市が指定している避難場所以外の場所に避難されていることが現実であり、それらの避難場所の把握に時間を要しました。それにより各避難場所のニーズ把握に非常に苦慮しました。

ニーズ把握ができて、必要な支援を実施することができても、情報弱者とそうでない者の間に格差が生まれていることも同時に感じました。

Q2 今回の経験を踏まえて、尼崎市で災害が発生した場合、どのようなことに生かすことが出来ると思いますか。

【佐々木部長】

尼崎市の場合、職員の半数が市外から通勤しています。市内の職員も当然ですが、市外の職員がいかに迅速に参集できるかや、他市町からの受援の仕組みなどの事前準備が非常に重要になると思います。

それと並行して、庁内、庁外の関係機関と密に連携を取り、被害状況や避難所情報などの把握手法を改めて検討することが必要だと感じました。

また、一義的には公助での支援が必要ですが、自助や共助の普段からできる取組の一層の必要性を伝えたいと思います。

【鹿島係長】

特に今回避難所運営の支援にあたり、改めてマニュアル通りにいかないものだというのを感じました。大規模災害での避難所運営は何もないところからスタートします。そのため避難所生活には多かれ少なかれ格差が発生します。その格差が極力発生しないように我々行政として取り組む必要性があります。

また、被災地の復旧にはまだまだ時間がかかるかと思いますが、尼崎市として本当に必要な支援をしていかなければならないと今回の支援を通じて、改めて思いました。

決して忘れてはいけない

2 「1.17 は忘れない」 地域防災訓練

阪神・淡路大震災の経験と教訓を次世代に継承し、次の大災害への備えや対策の充実を図るため、地域防災力（地域で災害に対処する能力）の向上を目的として行いました。



電気自動車から給電



防災資機材の展示



煙体験テント



語り部による講話



備蓄やペット避難の仕方
などのブース展示



マイ避難カードの作成支援

あの時の経験と教訓を次世代へ

園田地区(園田北小学校)



防災士による防災講座

小田地区(清和小学校)



避難所運営訓練

武庫地区(武庫北小学校)



避難訓練

大庄地区(成徳小学校)



応急救護訓練

中央地区(難波の梅小学校)



応急救護訓練